

14. 腎がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	泌尿器科	6	5	状況 ○	○	×	○	○	○	日本泌尿器科学会認定の泌尿器科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医が在籍しています。内視鏡で腎摘除術のみならず、腎部分切除術を積極的に行い、可能であれば鏡視下での腎部分切除術も行っています。	泌尿器科 ア http://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000001967.html イ http://			
2				状況							ア http://			
				実績							イ http://			
3				状況							ア http://			
				実績							イ http://			
4				状況							ア http://			
				実績							イ http://			
5				状況							ア http://			
				実績							イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん 腎細胞がん
------------------------------------	------------------